

募集課題名 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野 令和5年度「福島浜通り地域におけるまちづくり研究
及びラーニング・コミュニティハブ整備」委託事業
テーマ (1) 福島浜通り地域におけるまちづくり研究

研究実施者 羽藤 英二 (東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授)

実施予定期間 令和11年度まで (ただし実施期間中の各種評価等により変更があり得る)

【背景・目的】

福島浜通り地域の歴史地理風土を最大限尊重しつつ、F-REIの研究成果を活かした、今後の日本と世界の地域像をリードするにふさわしいまちづくりを目指す。

【研究方法 (手法・方法)】

(1) 研究体制の構築

まちづくり研究に必要な情報収集・合意形成を進めるため、既存施設を活用して必要な研究者等の体制を構築する。

(2) まちづくり研究と実践

基礎的事項の調査研究 (生活史、生業、コミュニティ等) や、必要なデータ取得 (統計データの収集、GPSを用いた調査等) を行う。そして、これらの結果を活用したまちのサービスやそれらの実践体制等を検討する。

(3) 研究プログラムを通じた人材育成

浜通り地域で活動している関係団体と幅広く連携しながら、段階的な研究者の人材育成システムを構築して実践する。

【期待される研究成果】

- 福島浜通り地域にふさわしいまちづくりへの寄与
- 福島浜通り地域から世界をリードする研究人材の輩出

まちづくり実践研究の概要

浜通り基礎研究

歴史地理文化など
地域の文脈

- 社会距離の歴史・人文社会研究等
 - 歴史文化景観/生業/生活史
 - ダイバーシティ都市の実践研究
 - 歴史・環境都市とランドスケープ研究

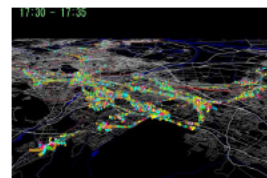


▲ 歴史文化、生活史調査

データ研究

まちづくりの基礎となる
数値情報等

- まちづくりセンサ
 - データプラットフォームの構築
 - 生活情報、都市計画情報、移動動向
 - 定期的な調査 = センサ仕組み化



▲ データシミュレーション

応用研究

新たなまちづくりの
実践に向けた研究

- 各種災害からの復興デザイン研究
 - 原発災害からの復興
 - Autonomous Urbanism研究
 - ウイズ/ポストコロナ対応型リダンダン社会



▲ まちづくりのあり方研究